

地球の  
「いきいき」の  
ために

# タカラ・ハーモニストファンド

自然環境保全や生物多様性保全のための活動や研究に取り組む  
団体や個人を全国から公募し、広く支援し続けています。

## 公益信託「タカラ・ハーモニストファンド」

宝ホールディングスは、1985年の創立60周年を機に公益信託「タカラ・ハーモニストファンド」を設立し、以来毎年、日本の森林や水辺の自然環境を守る活動や、そこに生息する生物を保護するための研究などに対して助成を行っています。助成先の選考は、自然科学分野の専門性の高い有識者により構成される運営委員会により行われます。2015年度は、多数の応募の中から、「NPO法人 いけま福祉支援センター」など全国で10件の自然環境保全に関する活動・研究が助成先として選ばれました。第1回からの助成先件数は延べ322件、助成金累計額は1億5467万9千円になりました。

 G: タカラ・ハーモニストファンド

### ● 2015年度タカラ・ハーモニストファンド助成先一覧

	助成先団体・個人	地域	テーマ
活 動 の 部	「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会	北海道	天売島の海鳥保護を目的としたノラネコ対策の実施
	十和田湖自然ガイドクラブ	青森県	休屋杉並木保全活動
	NPO法人 三番瀬環境市民センター	千葉県	三番瀬を里海として保全・再生するための調査活動
	北野 大輔	滋賀県	滋賀県の内湖における侵略的外来生物駆除および在来魚のモニタリング
	足摺宇和海国立公園大月地区パークボランティアの会	高知県	サンゴ保全にかかる普及啓発および調査活動
	研究会はたのおと	高知県	小さな自然再生：流域の土と木で生態ネットワークを回復
	NPO法人 いけま福祉支援センター	沖縄県	池間湿原の保全・再生へ向けた鳥瞰・虫瞰調査
研 究 の 部	NPO法人 富士山自然保護センター	山梨県	富士山梨ヶ原の絶滅危惧動植物に地質や土地利用が及ぼす影響に関する研究
	畠 佐代子	滋賀県	水田地帯に生息するカヤネズミの食性に関する研究
	松本 清二	奈良県	奈良県を中心とした紀伊半島におけるオオサンショウウオの生息調査

## VOICE

### 沖縄県 池間湿原の保全・再生へ向けた鳥瞰・虫瞰調査



「北の入江」を意味する「イーヌブー」は、かつては入り組んだ汽水域で、多くの生き物が生息していました。しかし1960年代に港建設で海水の入り口が閉じられると淡水湿原に姿を変え、新たな生態系が生まれました。現在、「イーヌブーの自然を守るべき」とする考えがある一方で、観光地化を望む声、「汽水域に戻すべき」とさまざまな意見がありますが、イーヌブーの将来を考えるためには、現状を知る必要があります。そこで専門家を招き、環境調査の方法などを学ぶことからスタート。子どもたちと生き物観察会を行い、自然環境を調べています。

NPO法人 いけま福祉支援センター